



国内外の観光客の周遊を 目指す「日本遺産」

今月号から、3市町広報紙の共同企画として、認定された日本遺産についての連載を始めます。広域で取り組む「出雲國たたら風土記」とはどんな「物語」なのか紹介していきます。



「日本遺産」の取り組み

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて増加する訪日外国人をはじめ、国内外の観光客の受け皿として創設された日本遺産。日本独自の文化財や伝統文化を通じて、地域を活性化することを目的としています。認定には、地域独自の歴史や文化、自然などを通じて物語性があること

が重要です。歴史的な経緯や地域の風習に根ざし、世代を越えて受け継がれている伝承等が含まれていることも重要視されます。認定は、世界に誇る日本の伝統・文化であると、国が認めているということになります。

ものがたりの概要
古来の鉄づくり「たたら製鉄」で繁栄した出雲の地では、今日もなお世界で唯一たたら製鉄の炎が燃え続けています。たたら製鉄の特徴は、優れた鉄の生産だけではありません。砂鉄の採取跡地を広大な稲田に再生し、燃料の木炭山林を永続的に循環利用しています。人と自然とが共生する持続可能な産業として日本社会を支えてきました。

また、鉄の流通は全国各地の文物をもたらし、独自の地域文化をも育みま



▲世界で唯一残るたたら炎(奥出雲町)

今もこの地では、神代の時代から先人たちが刻んできた鉄づくり千年の物語が終わることなく紡がれています。

「ヒロシマの平和の木」より
(サンドラ・ムーア原作、ワイルズー美絵)

「広島からのメッセージと 加納莞菴の想い」

原爆の悲しみと平和の尊さを描いて世界で評価された「ヒロシマの平和の木」(サンドラ・ムーア原作/ワイルズー美絵)を日本初公開。市民が描いた原爆の絵(原画)と子どもたちの「最期の言葉」、加納莞菴の広島へのメッセージも展示します。

期間 10月1日(土)～24日(月)

会場 安来市加納美術館

料金・開館時間などは、安来市加納美術館
(Tel 36-0880) まで問い合わせください。

安来市平和のつどい

市は平成26年に「安来市非核平和都市宣言」を制定しました。平和を願う気持ちは人類共通です。平和への意識を絶やさないため、平和のつどいを開催します。



1. パネル展及び映画上映

○パネル展

- ・期日 10月1日(土)～9日(日) 10時～16時
- ・会場 はくた文化学習館
- ・内容 ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル、サダコと折り鶴等の展示。

○映画上映

- ・日時 10月8日(土) 10時30分～12時30分
- ・会場 はくた文化学習館視聴覚ホール
- ・内容 映画上映及び絵本の読み聞かせ

2. 平和のつどいの日

- ・日時 10月22日(土) 15時～20時
- ・会場 布部交流センター、加納美術館周辺
- ・内容 戦争体験発表、あんどん1500灯の点灯ほか

3. イルミネーション点灯

- ・期間 10月12日から22日
- ・布部要害山にイルミネーションを点灯

平和のつどい実行委員会事務局
(布部交流センター内 電話 36-0001)
安来市役所 総務課 (電話 23-3015)

